

第77回国民体育大会バドミントン競技北海道予選会
兼 令和4年度北海道体育大会バドミントン競技会
開 催 要 項 (訂正版)

※朱書き部分～訂正箇所

1. 主 催 (公財) 日本スポーツ協会、(公財) 北海道スポーツ協会
2. 主 管 北海道バドミントン協会 十勝バドミントン協会
3. 後 援 スポーツ庁 北海道 帯広市 北海道教育委員会 帯広市教育委員会
帯広市スポーツ連盟 十勝毎日新聞社 北海道新聞帯広支社
4. 期 日 令和4年5月6日(金)～8日(日)
5. 会 場 よつ葉アリーナ十勝(帯広市総合体育館)
〒080-0030 帯広市大通北1丁目1 Tel.0155-22-7828
6. 種 目 少年男女ダブルス・シングルス、成年男女ダブルス・シングルス 計8種目
7. 競技日程

5月 6日(金)	競技説明	午前9時05分	
	競技開始	午前9時15分	少年男女複、成年男女複
5月 7日(土)	競技説明	午前9時05分	
	競技開始	午前9時15分	少年男女単・複、成年男女単・複
5月 8日(日)	競技説明	午前9時00分	少年男女単、成年男女単
8. 競技規則 令和4年度(公財)日本バドミントン協会競技規則、大会運営規程並びに公認審判員規程による。
9. 競技方法 各種目ともトーナメント方式とし、3位決定戦を行う。
10. 使用用器具 (公財)日本バドミントン協会・審査合格用器具及び令和4年度第1種検定合格水鳥球を使用する。
11. 参加資格
 - (1) 日本国籍を有する者で、国民体育大会に参加する意志があること。但し、次の者については、日本国籍を有しない者についても参加できる。
 - ① 在留資格が永住者であるもの。
 - ② 学校教育法第1条に規定する学校に在籍する学生または生徒で、在留資格が就学生、家族滞在については大会実施要項が定める申し込み締め切り時に1年以上在籍していること。在留資格が留学生の場合は参加できない。
 - (2) 北海道に令和4年4月30日以前から引き続き居住、勤務又は通学(大学生は除く)している者。但し、次の者はこの限りではない。
 - ① 成年の選手が属する都道府県として「ふるさと」を選択する場合。
 - ② 少年の選手が「一家転住」した場合。
 - (3) 第76回大会(都道府県大会およびブロック大会を含む)において監督または選手として他の都道府県から出場した者は、次の場合を除いて出場することができない。
 - ① 令和3年度に学校教育法第1条に規定する学校を卒業した者。
 - ② 結婚または離婚に関わる者。
 - ③ ふるさと選手制度を活用する成年選手。
 - ④ 一家転住に関わる少年選手
 - (4) 令和4年度北海道バドミントン協会会員で地区負担金を納入した地区協会に所属し、下記の条件に該当する者
 - ① 北海道バドミントン協会推薦者、又は各地区協会推薦者
 - ② 少年種目に参加する者は平成16年4月2日以降に生まれた者。但し、中学生以下の生徒及び児童は参加できない。(強化委員会が推薦する中学3年生は除く)
 - ③ 成年種目に参加する者は平成16年4月1日以前に生まれた者
 - (5) 成年種目に参加する者は、参加数制限はないが、少年種目については次表の割当数と記載の推薦選手とする。但し、割当数に棄権があった場合は主管協会が補充できる。

地区 協会名	函 館	室 蘭	苫 小 牧	小 樽	札 幌	南 空 知	北 空 知	旭 川	名 寄	北 見	十 勝	釧 根	開 催 地	計
割当数	5	3	3	3	8	3	3	5	3	3	5	4	1	49

《少年種目推薦選手》※複では下記推薦選手でのペアの変更を認める。

- 男子ダブルス 畠山大和③・河北勝希②(札幌龍谷)、齋藤誓弥③・宮崎光希③(札幌静修)、植村慎吾③・磯野佑斗②(札幌龍谷)、小關優心③・大井済嘉③(北海)
佐々木颯太③・伊藤彰悟③、小島滉貴③・中村樹希③(旭川実業)、瀬藤智史③・廣瀬大城③(帯広大谷)、越川 匠③・高橋史玖③(帯広柏葉)
- 女子ダブルス 山田桜生③・後藤李々子③、藤堂悠菜②・藤井りる②、小林涼嘉③・河原しいな③(とわの森三愛)
坂本美緒③・青柳遙③(札幌静修)
嶋村瑞希③・獅子原瑚桜③(旭川南)、濱下亜美③・江口碧②(帯広大谷)、本間陽②・藤川麻愛②(帯広柏葉)
松浦日菜乃②・吉田莉麻②(旭川実業)
- 男子シングルス 齋藤誓弥③(札幌静修)、畠山大和③、河北勝希②(札幌龍谷)、小關優心③(北海)
小島滉貴③、佐々木颯太②(旭川実業)、松本悠汰②、瀬藤智史③(帯広大谷)
- 女子シングルス 竹内紅葉②(札幌静修)、山家くるみ②、山田桜生③、藤井りる②(とわの森三愛)
土佐梨緒菜③(旭川実業)、濱下亜美③(帯広大谷)、獅子原瑚桜③(旭川南)、江口碧②(帯広大谷)
12. 参加料 少年一人1種目 2,500円、成年一人1種目 3,000円
道スポーツ協会国体納入金 1,500円、傷害保険料 1,000円(道スポーツ協会に納入)
13. 申込締切日 令和4年4月18日(月) ← **大会事務局必着日**
※1 申込データ必着のこと。
※2 成年の申し込みについては、とりまとめ業務の関係により大会事務局必着日の前日(4月17日(日))まで、各地区協会に申し込みを済ませること。
14. 申込方法 所定の参加申込書に必要事項を記入し、各地区協会で一括し、下記大会事務局にデータと郵送で申し込むこと。また、参加料も各地区協会一括し、下記口座に振り込むこと。
(申込先) 〒080-2469 帯広市西19条南4丁目35番1号
帯広大谷高等学校 入江 優喜(宛)
電話 0155-33-5811 FAX0155-33-3703
(e-mail : irie@obihiro-ohtani.ed.jp)
(振込先) 帯広信用金庫 東支店 普通口座 0180702
口座名義『十勝バドミントン協会 会計 関根裕彦(セキネヒロヒコ)』
15. 組合せ 令和4年4月24日(日) 13:00から札幌市産業振興センターにおいて、関係者立会いの上、大会レフェリー(競技役員長)・北海道バドミントン協会競技委員が行います。
16. 表彰 各種目とも第3位まで表彰します。
17. 宿泊 本大会は宿泊の斡旋はありません。
18. 備考 (1) 本会「国体選考基準」により、国体北海道選手を決定します。
(2) 全国大会は、令和4年10月7日(金)～10日(月) 栃木県大田原市で行われます。
(3) 選手は、大会運営規程第23条により、色付き着衣の場合は、(公財)日本バドミントン協会審査合格品とし、背面表示を義務づけます。その他の表示については同規程第24条の範囲内とします。
(4) 審判については敗者地区責任制とします。ご協力をお願いします。
(5) 前日の公式練習は12時からの予定です。(割当は別紙)
(6) 大会期間中の体育館開館時間は午前8時の予定です。
(7) 参加申込書に記載された個人情報は、本大会の運営目的に利用し、それ以外の目的に利用することはありません。
(8) 今大会は、新型コロナウイルス感染症対策として、公益財団法人日本バドミントン協会が作成したガイドラインに準じて、参加者および関係者の健康と安全の確保を最優先し下記のとおり実施します。
①開閉会式は行わず、競技説明(6日および7日、朝の公式練習終了後～レフェリーからの諸注意、新型コロナウイルス感染症対策「競技・運営上の注意」参照)および表彰(随時)のみ行います。
②入場制限をします。会場内への出入りは、原則試合当日に出場する選手および監督(顧問・コーチ)、大会役員、補助生徒(以下、大会関係者)のみとし、IDを必ず着用すること。ただし、シングルスに出場する選手については、大会前日および試合当日朝の公式練習日

での練習パートナーの必要性を考慮し、そのパートナー1名の入場を許可します。その場合も、IDを着用すること。

- ③無観客試合とします。保護者等の入場はできません。
- ④コートサイドには、ラケット・タオル・ドリンクを入れるカゴは設置しないので、各自のバッグに入れて保管すること。
- ⑤インターバルの時間は設定しますが、ボードは使用しません。
- ⑥次の書類を必ず提出して下さい。

【提出書類A】健康状態確認シート一覧（男女別・学校およびチーム用）

～大会前日公式練習日および大会初日の受付時に男女別に提出すること。（両日提出）

※チームに所属せずに成年種目にエントリーする者であっても、書類の中のチーム名欄に職場名・地区協会名等を記入して、【書類A】を提出すること。

※各自、自宅（宿泊先）で検温を済ませておくこと。（入館時に検温する場合あり）

【提出書類B】健康状態確認チェックシート（個人用）

～大会2日目以降は毎日朝、競技開始前に監督が学校単位・チーム単位で参加人数分をまとめて、受付または本部席に提出すること。（2日目以降については、【書類A】の提出は不要）

※役員については、大会前日公式練習日および大会初日から【書類B】のみ提出すること。

※各自、自宅（宿泊先）で検温を済ませておくこと。（入館時に検温する場合あり）

※【書類A】・【書類B】は、主催者等で一定期間保管し、期間経過後はシュレッダー処理します。

- ⑦ホテル・旅館等に宿泊する場合は、大部屋を避けてシングルあるいはツインの部屋を手配するよう努め、宿泊施設の新型コロナウィルス感染症防止対策に従って下さい。
- ⑧移動手段として貸切バス等を利用する場合は、利用者は最小限の人員とし、できるだけ間隔を空けて座るよう配慮すること。また、乗車中もマスクは着用すること。
- ⑨新型コロナウィルス感染拡大の状況によっては、この大会を中止にする場合があります。



公益財団法人JKA <http://keirin.jp/>

この事業は、競輪の補助金を受けて実施します。
競輪補助事業 <http://ringring-keirin.jp/>

